

選挙広報

副委員長候補
藤原 尚子
執行委員会は、学生の皆さんの日常生活をより良くするために活動しています。部室棟や学生駐車場の管理など、皆さんに關係の深い仕事を行っています。そして、皆さん一人一人の積み重ねで、私たちの運営が可能になります。

副委員長候補
宮坂 仁
私たち学生にとって生活の中心は大学であります。ですから、この大学での学習環境、生活環境が私達にとって望ましいものであればあるほど生活が充実しているといえます。私たちは充実した生活を送れるように、私達自身の生活を変えていかなければ、せっかくの楽しい時間を使わざるものとして終わらせてしまってはならないのです。そこで、自治会各団体を行なつてしまいまます。そこで、自治会各団体を行なう上で大きな原動力となることでしょう。

副委員長候補
小田 真之
私たち学生にとっていま、いちばん考えなければならない事とは一体なんでしょうか? それは、いまこの学生といつて立場でどれだけ充実した生活を送れるかにあると思います。それには皆さんの積極的な自治会参加が、充実した学生生活を送る上で大きな原動力となることでしょう。

平成3年度執行委員会役員選挙を行います。
そこで三候補の公約を発表します。

立ち会い演説会

十日～十二日

投票場所：コミニプラ

時間：一時～

投票日
十三日～十五日

投票時間
一時～四時

投票場所
コミニプラ
部室棟一階

開票日
十五日

再選挙期日決定

本日立会演説会

五月末に行われた自治会執行委員会役員選挙のやり直し選挙投票が六月十三日から十五日まで、つまり今週の木曜日から土曜日までの三日間で行われる。立候補者は前回と変わらず委員長候補

副委員長候補

2-1-D

宮坂 仁

2-1-G

藤原 尚子

の信任投票となる。各立候補者の選挙公約と運営方針は選挙広報に掲載されている。また、本日六月十日午後一時より

コミュニケーション・プラザにて立会演説会が行われるので投票の際の参考の為参加するべきだろう。我々は大学生活におけるさまざまな問題を解決するため、また、学び・遊び・楽しむのに適した、より良い環境をえるために、しっかりといた執行委員会を立てなければならぬ。そのため、今回も執行委員会役員選挙には全会員がしっかりととした目を持ち、よく考えて、投票をするべきである。



発行所
東京薬科大学
新聞会
責任者
藤村ゆりか

ここ数年、複数の候補者が立たず、毎回のように信託投票、という話題性に乏しい選挙を繰り返してきた。前回の選挙も同様に信任投票で、そのうえ準備不足、さもなく事あることに言われる「学生の無関心」などさまざまなものから熱の入らない選挙となつた。その結果、投票率が五百五十一票（全自治会員数二千六十五人、投票率三十一・四%）と投票率が五十%を大きく下回ったため、自治会規約に乗つとつて選挙不成立とされた。

そのような経緯で、今回の出直し選挙が行われる事になったのだが、今回の選挙は毎回の選挙、特に前回の選挙ほど低投票率になる事はないと予想される。そのように判断する材料として①前回選挙の失敗をふまえて自治会各団体への手配が整つたのに対し、今回は前回の選挙が不成立だった事が広く知れわたっていることから、自体があまり知られていないなかで、特別気質うことなど②前回は選挙が行われること③部室棟、駐車場など自治会の管理施設が、今回の出直し選挙に對する関心

自治会がそれを代行している。が、自治委員会と執行委員会では組織の性質が違うため、長期にわたる代行には無理がある。だから執行不在が長引けば長引くほど自治会運営は困難となり、ついには凍結してしまう。運営不能になつてしまふ。従つて総論としては、「誰も投票を怠けなければ何も決まる事はない」という事である。だから投票日である六月十三日には必ず自分の足で投票所であるコミニティープラザまたは部室棟入口に行き、必ず自分の手で投票をするべきである。そのためのとききつと、その自分の手足が自治会を支えている事を実感するだろう。